

【おむすびのまち四條畷】への第一歩！！

おむすび販売を実施しました。

横見ゼミナールの3年生は、四條畷市における地域活性化の取り組みを実施しています。今年度は、同市の自然の魅力をアピールするという目的を設定し、「おむすびのまち四條畷」プロジェクトを実施しました。「おむすび」とした理由は、人と人との縁を“結ぶ”、つまり四條畷と来訪者を結びつける「結び」と「お“むすび”」の語呂合わせとしたからです。おむすびは、四條畷産の米である田原米（まぼろしのエコ米）で作成し、具材としては同じく四條畷産のわさび菜、小松菜、ねぎ、チンゲン菜、味噌を使用しました。そして、「わさび菜」、「小松菜」、「ねぎ味噌」、「チンゲン菜の漬物」の4種類のおむすびを開発しました。

これらの4種類のおむすびは、2月と3月の毎週月曜日に、商店街の食品スーパー「なんこうシャル」の特設ブースをお借りして販売を実施しました。同時に、おむすびに使用した米や野菜や味噌なども販売しました。販売の結果、8日間の総売上高は218,220円、来客数は834人でした（表1参照）。これは、当初に予想をしていたものを遥かに上回る成果となりました。集客を増やす工夫として、商品を買っていただいたお客様のレジ袋の中に学生が制作した販売促進チラシを入れることで、また次の週にも来ていただくことができました。このように「リピーター」を増やすことができたことが、こうした結果に結びついたと思います。



↑特設ブースでの販売の様子

表1 各回の売上高と来客数

2月	売上高	来客数
5日	19,020円	77人
12日	26,620円	103人
19日	34,060円	132人
26日	26,130円	102人
3月		
5日	20,130円	73人
12日	29,010円	107人
19日	31,550円	123人
26日	31,700円	117人
合計	218,220円	834人

このような販売企画は初めての試みでしたので、商売をするという難しさを非常に感じました。商品の価格設定や食品を販売する際のルール、仕入れの方法など、当初は何もかも分かりませんでした。しかし、今回、協力をして頂いた紀南食品（スーパー内のお惣菜屋さん）の林さま、米や野菜や味噌などの食材を提供して頂いた株式会社グリーンファームの永井さまをはじめ、様々な方のご協力のおかげでプロジェクトを成功させることができました。今後は、このプロジェクトで考案したおむすびを媒介として、四條畷市における自然の魅力を発信することで「おむすびのまち四條畷」に向けて取り組みを拡大していきたいと考えています。

【文責：総合経営学部 経営学科3年生 藤原 勇太】